

# ワールドハンディキャップシステム（WHS）導入について

4月1日より財団法人日本ゴルフ協会（JGA）が推奨しているハンディキャップ計算システム「ワールドハンディキャップシステム（WHS）」により算出されたハンディキャップインデックスを採用いたします。WHSはコースレートの持っている全国のコースをネットワークでつなぎ、全てのラウンドスコアを登録することにより、複数の倶楽部に所属している会員のハンディキャップを統一するとともに、より公正なハンディキャップを算出します。できるだけ多くのゴルファーの方にハンディを取得頂き、多くゴルファーがよりゴルフを楽しめるシステムとなるように倶楽部として進めてまいります。

## ハンディキャップインデックスについて

ハンディキャップインデックスは、世界で通用するハンディキャップです。コースや、使用するティーの難易度に応じて調整（スロープレーティング）して使用しますので、ラウンドするコースや使用するティーによって数値が変化します。

## ハンディキャップインデックスの取得方法

最新提出スコアカード3枚以上で計算されます。  
また新たな20枚のスコアカードのベスト8枚を用いて計算します。

## スロープレーディングとは

ハンディキャップ0のプレーヤーがプレーしたコース難易度(ア)と、ハンディキャップ20程度のプレーヤーがプレーしたコース難易度(イ)の差に基づいて算出した数値。(ア)と(イ)の差が大きいほど数値が大きくなる。標準数値は113。

## コースハンディキャップ

$$\frac{\text{JGA/USGA ハンディキャップインデックス} \times \text{プレーするコースのスロープレーティング}}{113 \text{ (標準スロープレーティング)}} = \text{〇〇.〇 (四捨五入)}$$

たとえば、ハンディキャップインデックス18の男子ゴルファーが、キング→クイーン レギュラーティ使用の場合は、ハンディキャップ22、フロントティの競技の場合は、ハンディキャップ21となります。3月より、月例杯・当月杯につきましては、このコースハンディキャップを採用し、競技を行います。

今後、ハンディキャップ証明書の発行を無くし、ホームページにて、ハンディキャップインデックスの掲示を行います。証明書をご希望の方は、スタート室までお申し出ください。